

加西市指定文化財の指定について

加西市教育委員会は、文化財の保護に関する条例第3条の規定により、下記の物件を市指定文化財に指定しました。



阿弥陀如来坐像

■名称	阿弥陀如来坐像
■所在地	加西市綱引町 831-42 周遍寺
■特徴	①像 高 52.3cm ②材 質 木造 ③製作年代 平安時代後期 ④作 者 名 不明

■指定理由

外見は、頭部のみわずかに前に傾けますが、背筋はまっすぐに伸び、抜群の安定感をみせます。正面観はやや華奢に、斜めや側面観は量感的確に表現され小像とは思えない迫力があります。

幅広の鼻筋に厚めの唇、吊上がった両眼で、独特の暗い表情をみせますが温和さも加味されています。衣装は、波を交えつつ太い縄状を多く用いています。このような外見や衣装からみても平安時代前期から後期への過渡的な様相を呈しているといえます。また、小像であることから、中央からもたらされたものと考えても矛盾はなく、市域でも数少ない十世紀後半の優れた作例といえる価値内容をもっています。

【問合せ】 市史・文化財室 ☎④7524

『加西市史』最新刊の販売開始

『加西市史』の最新刊、第九巻史料編3(近世Ⅱ・近現代)が刊行(第8回配本)されました。

第九巻は史料編です。近世Ⅱは江戸期から幕末にかけての村社会、経済、文化、宗教等について、近現代は明治期から大戦を経て昭和の合併などについての史料や新聞記事等を掲載しています。



『加西市史』第九巻史料編3

- 販売価格 7,000円※郵送購入には別途送料590円が必要
- 販売場所 市史・文化財室分室(市団体事務所2階)
教育委員会事務局(市役所6階)、市内各公民館
地域交流センター、西村書店、毛利書店
- 執筆者 福永文夫 獨協大学法学部教授
幡鎌一弘 天理大学おやさと研究所研究員
稲継裕昭 早稲田大学政治経済学術院教授 ほか9名

■第6回 加西市史を読む会 中世2 院政・平氏政権と播磨国支配

『加西市史』をテキストに、中世の幕開けにして武士の台頭のきっかけとなった院政と平氏政権、またこれら政権と播磨国の関わりについてわかりやすく解説します。



4/25 開催した
第5回加西市史を読む会

日時：5月23日(土)13:30～15:00
会場：アスティアかさい3階集会室
募集人員：会場にて先着60名 参加費：100円

【問合せ】 市史・文化財室分室 ☎④0161

【問合せ】 市史・文化財室分室 ☎④0161



ふるさと納税は加西市に

市外に住まれている加西市出身の方、加西市にゆかりのある方、加西を訪れ加西ファンになった方、ふるさと納税(ご寄付)をお願いします。

ご寄付の仕方や特典などについてご説明申し上げます。お問い合わせ下さい。

「報恩寺(玉丘町)のシャクナゲ」
松本正光さん撮影(北条町北条)

問合せ 経営戦略室 ☎0790④8700